

現代によみがえる<つながりの文学> ～小泉八雲とセツの世界～

講師

KOIZUMI Bon

小泉 凡 先生



1961年東京生まれ。成城大学・同大学院で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践活動や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。2022年度全国日本学士会アカデミア賞を受賞。

小泉八雲記念館館長・焼津小泉八雲記念館名誉館長・島根県立大学短期大学部名誉教授。

主著に『民俗学者・小泉八雲』（恒文社）、『怪談四代記―八雲のいたずら』（講談社）、『小泉八雲と妖怪』（玉川大学出版）ほか。

小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）曾孫、日本ペンクラブ会員。



色とりどりのミライへ。

日 付

12 月 19 日【金】

時 間

18:30～20:00

会 場

6201教室

申 込

下のQRコードからお申し込みください。



お申し込みは
こちらから→

講演内容

小泉八雲とセツが紡いだ超自然をテーマとする再話文学は、東洋と西洋、生者と死者、人と自然、現実世界と超自然をつなぐ物語。「オープン・マインド」「朝ドラ<ばけばけ>」「怪談作品の多彩な芸術表現」「戦後80年」などの切り口から、分断や自国中心主義の現代にもとめられる<つながりの文学>の意味を考えます。